

全国のみなさん 組合員のみなさん 協力ありがとう！

日刊 動労千葉

1988. 8. 19
No. 2876

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電二五三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七）

夏季物販昨年実績を上回り大成功

全国の心ある仲間のみなさんのご協力と動労千葉各支部の役員・組合員の奮闘によって「夏季物品販売」は、昨年実績を大きく上回り、大成功のうちに終了しようとしています。全国のみなさんと組合員のみなさんのご協力に心から感謝いたします。今号はお礼の意味をこめて、白井協販部長の感想を掲載します。

動労千葉のたたかいに理解が広がる

協販部の白井です。今回の夏季物品販売についての感想を一言のべさせていただきますが、まず、その前に、全国の心ある仲間のみなさんに物品販売へのご協力にお礼申し上げます。

さて、今回の物品販売のたたかいは、動労千葉の新たなたたかいが問われ、そのたたかいに勝利したからこそ成功したといえます。

昨年の冬までは、全国オルグの中心部隊は、解雇者でしたが、今回は解雇者のほとんどが財政問題確立の新たなたたかいへと突入したことにより、現場の役員・活動家、そして一般組合員までが全国オルグの中心になり奮闘してくれたことが、成功を勝ちとった大きな力となりました。

全国オルグでの報告のなかで一番よく聞かれたのは、「千葉から職場のある人が年休や自分の休みまで使ってオルグに来た」「動労千葉にもこんな人がいるのか」という驚きの声です。実に組合員のべ五〇人、二〇〇日、二〇〇〇ヶ所の全国オルグを実施し、新しい労組にも積極的に入りました。東京東部の初めて入ったある労組からは五〇万円の注文、九州のある教組の支部は三回にわたって注文をいただきました。

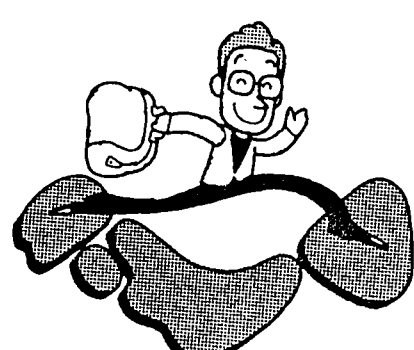
労戦「統一」をめぐって危機感

また、成功したもうひとつの理由として、これだけの弾圧を加えられながらも、現在もお動労千葉がたたかい続けていること、さらに、新たな動労千葉破壊が加えられようと、ストライキで

反撃に転じたことが熱い共感をもって支持されていることだと思えます。

とくに、教育臨調、労戦「統一」をめぐり教育労働者の危機感、怒りが強いことから動労千葉への期待が高まっています。また今回のオルグを通じて北海道、九州の清算事業団の仲間との連帯が作りだされたことが大きな成果といえるでしょう。さらに、組織内においても強制配転された仲間が駅や売店で駅当局や他労組の「組合員」に対してアタックし物販に協力させたことなどの奮闘が上げられます。

九月から、冬の販売が本格的に始まります。今回の成果と教訓を大きなものへとつなげるためにも、組合員のみなさんと全国の仲間のみなさんにご協力を訴えます。



9/20 冬季 物品販売
オルグ団結団式

右翼労戦「統一」反対、闘う国鉄労働運動の確立を

九・二 国鉄労働者集会

◎ 9月11日（日）13時より、東京・南部労政会館◎
全組合員の力で成功をかちとろう